平成25年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年２月12日

上 場 会 社 名　　ナノキャリア株式会社　　上場取引所　　東
コ ー ド 番 号　　4571　　URL　http://www.nanocarrier.co.jp
代　　表　　者　(役職名) 代表取締役社長CEO　　(氏名)　中冨 一郎
問合せ先責任者　(役職名) 取締役CFO兼管理部長兼社長室長　(氏名)　中塚 琢磨　(TEL) (03)3548-0217
四半期報告書提出予定日　　平成25年２月12日　　配当支払開始予定日　　－
四半期決算補足説明資料作成の有無　　：無
四半期決算説明会開催の有無　　：無

(百万円未満切捨て)

１．平成25年３月期第３四半期の業績（平成24年４月１日～平成24年12月31日）

（１）経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第３四半期	201	△5.1	△360	－	△354	－	△356	－
24年３月期第３四半期	211	264.0	△284	－	△288	－	△288	－

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第３四半期	△1,460.39	－
24年３月期第３四半期	△1,275.79	－

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第３四半期	5,191	3,426	65.2
24年３月期	3,662	1,858	49.9

(参考) 自己資本　25年３月期第３四半期　3,382百万円　24年３月期　1,828百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	－	0.00	－	0.00	0.00
25年３月期	－	0.00	－		
25年３月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成25年３月期の業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	370	6.8	△812	－	△828	－	△831	－	△3,262.45

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期３Ｑ	287,245株	24年３月期	234,935株
②　期末自己株式数	25年３月期３Ｑ	－株	24年３月期	－株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期３Ｑ	243,885株	24年３月期３Ｑ	226,377株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外でありますが、平成25年２月12日にて、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）業績予想に関する定性的情報 ……3
２．四半期財務諸表 ……4
（１）四半期貸借対照表 ……4
（２）四半期損益計算書 ……5
（３）継続企業の前提に関する注記 ……6
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……6

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第３四半期累計期間において、当社は、主要パイプラインの開発推進及び新規開発パイプラインの拡充などに取り組んでまいりました。

４つの主要パイプラインの進捗状況は下記のとおりです。

パクリタキセルミセル（NK105）につきましては、アジア領域を対象としたライセンス先である日本化薬株式会社によって、平成24年７月に、転移・再発乳がんを適用対象にした第Ⅲ相臨床試験（国際共同試験）が開始され、順調に進捗しております。

シスプラチン誘導体ミセル（NC-6004ナノプラチン®）につきましては、アジア地域（日本、中国、インドを除き、オセアニアを含む）を対象としたライセンス先であるOrient Europharma Co., Ltd.（OEP：台湾。以下「OEP」という）と共に、台湾及びシンガポールで進行性膵臓がんに対する第Ⅰ/Ⅱ相臨床試験を実施中であり、現在、第Ⅱ相試験は順調に進行しており、本年前半には、承認要件を満たす拡大臨床試験に移行する予定です。日本国内においても、平成24年10月に固形がんを対象に第Ⅰ相臨床試験を開始しました。また、本パイプラインはグローバル展開を計画しており、米国においても本年中に第Ⅱ相臨床試験を開始するため、鋭意準備を進めております。

ダハプラチン誘導体ミセル（NC-4016）につきましては、米国における第Ⅰ相臨床試験実施の早期再開（テキサス大学MDアンダーセン）に向け、準備を進めております。

エピルビシンミセル(NC-6300：pH応答性ミセル)につきましては、全世界を対象にしたライセンス及び共同開発契約を締結している興和株式会社とともに、本年の第Ⅰ相臨床試験開始に向け、非臨床試験の実施及び治験薬の製造等を進めております。

その他の新規開発パイプラインについては、国内外の研究機関や製薬企業と共同研究やフィージビリティスタディを実施する一方、ドセタキセルや分子標的薬ベルケイド®（ボルテゾミブ）のミセル化医薬品開発について自社による研究を進めております。

事業開発分野については、平成24年11月に、OEPとの間で、同社に対し、NC-6004に関するアジア地域を対象とする開発及び販売権に加え、全世界を対象とする非独占製造権を付与する新たなライセンス契約を締結しました。また、同月、信越化学工業株式会社を割当先とする新株式発行(12,000株)を含む資金調達を行うとともに、ミセル化ナノ粒子技術の中核である原材料ポリマーの研究開発について同社と協力的な関係の構築に向けて検討を開始しております。

なお、信越化学工業株式会社は、株式会社ウィズ・パートナーズが無限責任組合員として組成する投資事業有限責任組合より、当社株式12,000株の譲渡を受け、第三者割当で取得した株式数と合わせた当社株式保有数は24,000株であり、当社の筆頭株主となっております。

当第３四半期累計期間の売上高は、興和株式会社への製剤供給に伴う収入及びOEPからの契約一時金収入等により201,029千円（前第３四半期累計期間比94.9%）、研究開発を推進したことにより営業損失は360,961千円（前第３四半期累計期間営業損失284,376千円）、経常損失は354,782千円（前第３四半期累計期間経常損失288,554千円）、四半期純損失は356,167千円（前第３四半期累計期間四半期純損失288,809千円）となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

当第３四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ1,528,921千円増加し、5,191,500千円となりました。これは主に、期中における新株予約権行使及び第三者割当増資に伴う払込により現金及び預金が増加したことによるものです。負債につきましては、前事業年度末に比べ38,636千円減少し、1,765,317千円となりました。これは主に未払法人税等及び買掛金の減少等によるものです。純資産合計については、前事業年度末に比べ1,567,558千円増加し、3,426,183千円となりました。これは、第三者割当による新株発行及び新株予約権の行使請求に伴う新株発行による資本金及び資本剰余金の増加が、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少を上回ったことによるものです。

（３）業績予想に関する定性的情報

当事業年度（平成25年３月期）の業績予想につきましては、興和株式会社とのライセンス及び共同開発に関する契約に基づくマイルストーン収入、OEPとのライセンス契約に基づく収入等により、売上高は、370百万円（前事業年度比6.8%増）、営業損失は812百万円（前事業年度営業損失333百万円）、経常損失は828百万円（前事業年度経常損失366百万円）、当期純損失は831百万円（前事業年度当期純損失398百万円）としています。

業績予想数値につきましては、平成24年10月１日付で行った業績予想修正発表より変更はありません。

２．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,876,165	4,701,590
売掛金	1,333	506
有価証券	105,038	105,097
仕掛品	63,781	63,478
原材料及び貯蔵品	35,202	145,334
その他	30,938	105,944
貸倒引当金	△25	△24
流動資産合計	3,112,433	5,121,927
固定資産		
有形固定資産	38,111	52,172
無形固定資産	1,799	1,909
投資その他の資産	510,233	15,491
固定資産合計	550,145	69,573
資産合計	3,662,578	5,191,500
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,426	4,161
未払法人税等	10,103	8,404
その他	88,424	52,750
流動負債合計	103,953	65,317
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	1,700,000	1,700,000
固定負債合計	1,700,000	1,700,000
負債合計	1,803,953	1,765,317
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,576,730	4,531,849
資本剰余金	3,557,942	4,513,054
利益剰余金	△5,306,122	△5,662,290
株主資本合計	1,828,550	3,382,613
新株予約権	30,074	43,569
純資産合計	1,858,624	3,426,183
負債純資産合計	3,662,578	5,191,500

（２）四半期損益計算書
第３四半期累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）	当第３四半期累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）
売上高	211,724	201,029
売上原価	71,123	127,876
売上総利益	140,600	73,153
販売費及び一般管理費	424,976	434,114
営業損失（△）	△284,376	△360,961
営業外収益		
受取利息	1,490	1,223
為替差益	－	14,358
その他	305	321
営業外収益合計	1,795	15,902
営業外費用		
株式交付費	3,782	8,888
新株予約権発行費	1,678	835
為替差損	13	－
その他	500	－
営業外費用合計	5,974	9,723
経常損失（△）	△288,554	△354,782
特別利益		
固定資産売却益	－	499
新株予約権戻入益	698	－
災害損失引当金戻入額	944	－
特別利益合計	1,642	499
特別損失		
固定資産除却損	82	70
特別損失合計	82	70
税引前四半期純損失（△）	△286,994	△354,352
法人税、住民税及び事業税	1,815	1,815
法人税等合計	1,815	1,815
四半期純損失（△）	△288,809	△356,167

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、当第３四半期累計期間において、新株予約権（第１回（い）、第２回（い）（ろ）（は）（ほ）、第３回（い）（ろ）（は）、第４回（ろ）、第５回、第８回）の行使請求に伴い新株式40,310株の発行を行い、資本金が610,281千円、資本準備金が610,273千円増加しております。また、平成24年11月15日を払込期日とする第三者割当により新株式12,000株の発行を行い、資本金及び資本準備金がそれぞれ344,838千円増加しております。この結果、当第３四半期累計期間において資本金が955,119千円、資本準備金が955,111千円増加し、当第３四半期会計期間末において資本金が4,531,849千円、資本準備金が4,513,054千円となっております。